

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・体験入学の参加者は増加傾向にあり、参加者から概ね好評であった。令和7年度は在校生のアルバイト学生の頑張りもあって増加した。
- ・学納金については、物価高騰もあり値上げ等を考える時期にきている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・令和6年度の入学者減の影響により赤字が続いているが、次年度の学生募集にて改善が期待される。
- ・建物の老朽化による改修工事等を実施していくにあたり支出が増加するが、安定した入学生の確保および退学者の防止に努め、極力支出を抑え財政基盤を盤石にするよう改善が必要である。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・専修学校設置基準や関係法令に従い、適正に運営している。
- ・ホームページ内「情報公開」の中で、自己評価結果を公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・例年11月に歯科医師会、歯科衛生士会主催の障害者歯科イベントを本校で実施している。学生も参加し、良い機会・勉強となっている。
- ・姉妹校である愛知産業大学主催の大学祭において、ファミリー向け体験「きらきらフェス」に歯科衛生士の職業周知を目的として、参加をした。今年度も参加予定である。
- ・公開講座、教育訓練については受託できる体制がないが、体制を整えば実施していきたい。

令和7年度 三河歯科衛生専門学校 自己評価

I 1. 三河歯科衛生専門学校教育理念

「豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。」

2. 三河歯科衛生専門学校学則

第1章 総則

第3条 本校は、教育基本法（昭和22年法律第25号）の精神に則り、学校教育法（昭和22年法律第26号）及び歯科衛生士法（昭和23年法律第204号）に基づき歯科衛生士に必要な専門教育を施すとともに、社会から喜ばれる知識技能と歓迎される人柄を兼ね備えた人材の育成を目的とする。

II (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
・ 学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・地域の歯科医療において、より高い専門性を発揮し、広く深い知識や技術に裏打ちされた実践能力の基に、他職種と連携をとりながら仕事ができる歯科衛生士の養成に取り組む。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・中長期計画会議・職員会議・学年会議を定期的に行い、学校の長期的目標や短期的目標を明確に定め、会議を意思決定機能として有効なものにする。
- ・情報システム化については、徐々にではあるがWi-Fi等の整備を行っている。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・今年度より、老人保健施設実習が中止となったが、臨床実習先で訪問診療を行う歯科医院が増加しており、学ぶ機会は減少していない。口腔ケアの実践が可能となる実習先との連携をさらに深めていく。

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・R7年度前期の退学率は0%であった。しかし、後期になり退学者が1年生で6名(休学者2名を含む)出たため、退学率は6.1%となった。ここ数年退学率は上昇している。1年生は全入ということもあり、様々な問題(生活面・精神面)を抱えた学生が多くいた。今後も、学業不振や精神面で不安を抱えた学生が増加することが予想されるため、引き続き担任や心理カウンセラーで、連携をとりつつ対応を行っていく。学生・保護者に誠実に関わり、より確かな信頼関係を構築し、配慮・対応に努める。
- ・体験入学での保護者、高校訪問等での高校教員に対して、職業理解や適性の周知を行い、ミスマッチを防ぐ。
- ・現在、卒業生の活躍等の情報は十分ではないが、校友会がSNSでのネットワーク構築を開始した。今後も校友会と連携し、情報の把握を目指していく。

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・ 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・学生支援は生活・進路・経済など多岐にわたる。担任をはじめ各担当教員が相談・支援を行っているが、心の病を抱えている学生も多いため、スクールカウンセラーによるカウンセリングを月2回2時間ずつ設けている。
- ・学生生活向上委員会を、各学年代表者が月1回集まり実施していたが、有意義な話し合いが行われておらず運営方法の見直しを行う。今後は目安箱を設置し、学生全体から意見を募ることとした。

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・昨年度より、歯科衛生士養成所の指導ガイドラインが変更となったため、新しい器具・器材を購入する必要がある。今後教育内容に応じ適宜準備していく。
- ・他職種連携を知り、臨地実習指導体制を構築する目的で、藤田医科大学岡崎医療センターでの実習も行っている。今後も社会のニーズに応じて随時検討していく。
- ・実践能力の向上と、臨床実習・臨地実習の指導者と更なる連携をとるため、臨床実習指導者会議を行い、指導のスキル、方向性、内容の統一を図る。
- ・防災・減災に対する日ごろからの意識向上を継続的に行っていく。